

# 平成26年度 妙高市特別活動部 活動報告

部長 飯塚 裕

## 1 研究主題

「子どもたち一人一人の関わりを重視した特別活動の実践」

## 2 研究の概要

妙高市では、小・中・特別支援学校の教職員で妙高市教育研究会を組織している。特別活動部会では、4月23日の春の一斉研修の部会の中で、各自が取り組んでみたいことについて聴き取り、研究の進め方を決めた。その後、研究主題を決めて各学校で実践に取り組んだ。

8月21日に夏の一斉研修があり、特別活動部会を開催し、特別活動のベースとなる学級づくり研修を行った。そして、11月11日の秋の一斉研修日に特別活動部会を開催し、研究主題に基づいた各自の実践レポートを持ち寄り、小グループでレポート報告会を行い、それぞれの実践のよさをKJ法でまとめた。11月11日に行った部会の様子について報告する。

## 3 研究の実際

### (1) 実践レポート報告会の内容

- ①はつらつタイム（長縄跳び3分間200回越え）の取組 <小学校>
- ②若竹フェスティバル「若竹キッズ☆トライ広場」取組 <小学校>
- ③学校行事におけるメッセージを通して自己肯定感を高める活動 <中学校>
- ④生徒会活動の取組 <中学校>
- ④「なかよしありがとう集会」の取組 <小学校>
- ⑤コミュニティ・フェスティバルの活動 <小学校>
- ⑥全校宿泊活動「学校に泊まろう」の取組 <小学校>
- ⑦なかよし班での取組 <小学校>
- ⑧縦割り班なかよし活動の取組 <小学校>



### (2) 姫川原小学校の実践紹介（全校宿泊体験活動の取組）

◇概要：

- ①全校宿泊体験活動のねらいの紹介⇒縦割り班活動の集大成として位置付け
- ②全校宿泊体験活動の紹介（縦割り班による館内オリエンテーリング・全校学び合いによる「全校算数」・活動を支えていただいたサポーターへの手紙・困難なことを乗り越える「大縄チャレンジ」・互いに協力し合うプロジェクト・アドベンチャーの活動「なかよしチャレンジ」・縦割り班活動を振り返る「友達発見カード」の取組）
- ③評価方法の紹介（先行研究をもとに考案した自尊感情アンケート）  
「包み込まれ感覚領域」「社交性感覚領域」「勤勉性感覚領域」「自己受容感覚領域」  
からなる40問の内容や捉え方、分析シートの活用方法を紹介した。

## 4 成果と課題

実践レポートは、それぞれの学校の特色が出ていた。特に小学校では、縦割り班活動を活用した活動紹介が多かった。社会性の育成を縦割り班活動を通して行っている。それぞれの学校で工夫している点を紹介し合うことで、各自の実践を振り返るいい機会となった。また、改めて教育活動を支える大切な活動であることを認識した。

他の部との兼務もあり、少人数の部会である。学級担任が少ないために授業研究の実施ができない状況がある。今後も少人数のよさを生かした研修内容を考えていく。